

KEIO TECHNO-MALL 2017

▶ 併設セミナーⅢ

大気中PM2.5の新たな計測技術

会場 併設セミナー会場 (ガラス棟7F G701)

時間 16:30 - 17:30

中国北京市におけるPM2.5大気汚染の問題が世界的な関心を集めています。北京市でのPM2.5大気汚染は、1万人を越す死者を出し記録的な大気汚染である1952年12月に発生したロンドンスモッグと類似点が多く、PM2.5粒子が極めて強酸性になることも明らかとなりました。本セミナーでは、PM2.5の強酸性粒子の測定、IPMセンサーによるPM2.5濃度のスマートモニタリング、PM2.5中有害金属濃度の自動連続測定等について説明を行います。

講演 ①



「PM2.5の酸性度 (pH) の測定、
中国北京市での強酸性粒子の実態」

慶應義塾大学 理工学部
応用化学科 教授

田中 茂

講演 ②



「PM2.5濃度のスマートモニタリング」

東京ダイレック株式会社
企画開発部 兼 営業第1部

楊 柳氏

講演 ③



「β線吸収法と蛍光X線法を組み合わせた
自動計測装置 (PX-375) を用いた
PM2.5中元素成分の連続観測」

株式会社堀場製作所 環境・プロセス開発部

香川 明文氏

[司会]

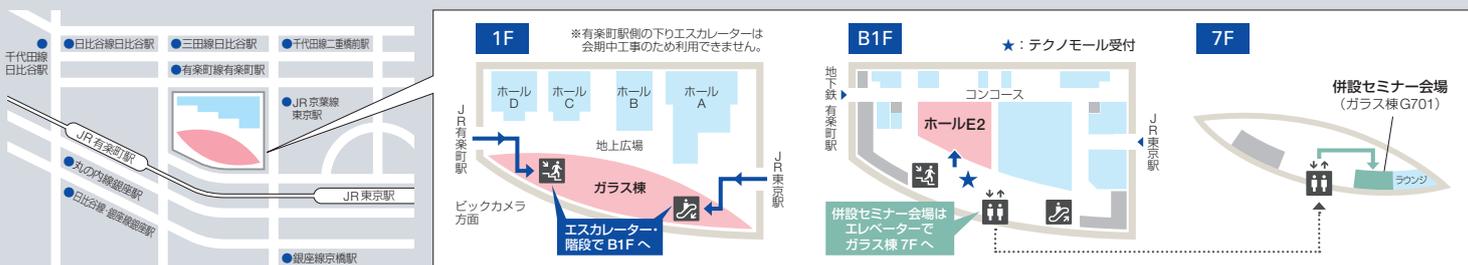


株式会社堀場製作所
開発本部開発企画センター 産学官連携推進室

藤原 雅彦氏

日時 — 2017年12月15日 [金] 10:00 - 18:00 会場 — 東京国際フォーラム 地下2階 (ホールE2)

内容 — 大学最大規模の100件を超える実演中心の展示、研究者による技術トークなど 入場料 — 無 料 ※事前登録不要



[主催・お問い合わせ]

慶應義塾先端科学技術研究センター [KLL] (慶應義塾大学理工学部・大学院理工学研究科)

〒223-8522 神奈川県横浜市港北区日吉3-14-1 Tel: 045-566-1794 Fax: 045-566-1436 E-mail: ktm@kll.keio.ac.jp

www.kll.keio.ac.jp/ktm/

慶應テクノモール

